

平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年4月22日

上場取引所 JQ

上場会社名 アジアパシフィックシステム総研株式会社

コード番号 4727 URL <http://www.asia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 毅

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員ゼネラルサポート本部長 (氏名) 井関 潔

TEL 03-3985-4311

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	3,595	—	16	—	22	—	7	—
20年9月期第2四半期	3,931	△3.1	182	△45.0	191	△43.5	178	△40.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	0.84	—
20年9月期第2四半期	19.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第2四半期	6,101	5,267	85.9	582.35
20年9月期	6,422	5,346	82.6	589.51

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 5,241百万円 20年9月期 5,306百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	8.00	8.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,250	108.1	285	92.8	300	93.5	165	57.0	18.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第2四半期	9,002,200株	20年9月期	9,002,200株
② 期末自己株式数	21年9月期第2四半期	759株	20年9月期	559株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年9月期第2四半期	9,001,513株	20年9月期第2四半期	9,001,750株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国の景気失速に伴い国内においても、急激な為替の変動による輸出関連企業の業績不安や原油価格高騰による関連商品価格の値上げによる企業収益の圧迫懸念や個人消費の低迷等、先行きの不透明感は一段と強まってまいりました。

当社の属するIT業界におきましても、景況悪化により企業の情報化投資抑制が高まっていることや、システム投資を牽引してきた金融機関系システムの構築需要の一巡感等の要因により厳しい状況下にあります。

このような状況下、当社グループにおいても企業のシステム投資意欲減退により、新規顧客の受託開発は苦戦したものの、保守・運用契約のある既存顧客のカスタマイズ案件や付随するシステム開発の受注獲得に注力する一方で、HP Integrity NonStopサーバを核としたシステム・インフラストラクチャのSI事業を手掛ける日本ヒューレット・パカード株式会社との合弁会社「日本NonStopインベーション株式会社」を中心に、特定ソリューション・サービスの強化を進めてまいりました。また、当社は、平成20年11月17日をもってキャノン電子株式会社を親会社とするキャノン電子グループの一員として新たなスタートを切っておりますが、同社を含めたキャノングループ各社との事業シナジーの最大化を企図した具体的な協議を開始しております。

当第2四半期におきましては、技術者の徹底したアサイン管理、購買部門におけるビジネスパートナーの一元管理により製造コストを、費用対効果の見直し等により販管コストを統制してまいりましたが、受託開発案件の減少や主要顧客からの値引き要請等に加え、一部子会社で受託しております開発案件の検収が下期にズレ込んだこと等の理由により、売上高、利益とも当初予想を下回りました。

なお、キャノン電子株式会社による当社普通株式に対する公開買付けに関し、当社は企業提携・資本移動に係る手数料として1億17百万円を支払っており、当第2四半期連結累計期間に特別損失にて計上しております。

その結果、売上高は35億95百万円、営業利益は16百万円、経常利益は22百万円、四半期純利益は7百万円となりました。

品目別の売上高は、以下のとおりとなりました。

「システム開発」区分におきましては、22億68百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

「保守・運用」区分におきましては、9億92百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

「ライセンス・パッケージ」区分におきましては、2億16百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

「Webデザイン」区分におきましては、77百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

「その他」区分におきましては、31百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

OA機器販売区分におきましては、10百万円（前年同期比52.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、61億1百万円となり前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少しました。主な要因として、受取手形及び売掛金の増加2億2百万円、短期繰延税金資産の増加68百万円、ソフトウェアの増加32百万円があったものの、現金及び預金の減少5億22百万円、仕掛品の減少35百万円、未収入金の減少31百万円、前払費用の減少18百万円、短期貸倒引当金の増加18百万円があったことによるものであります。

負債は8億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少しました。主な要因として、未払法人税等の減少1億31百万円、未払費用の減少19百万円、前受金の減少39百万円、退職給付引当金の減少23百万円があったことによるものであります。

また、純資産につきましては52億67百万円となり前連結会計年度末に比べ79百万円減少しました。主な要因として、期末配当金の支払72百万円があったことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は33億72百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べて2億25百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億63百万円となりました。主な要因として、賞与引当金の増加1億46百万円、たな卸資産の減少2億45百万円があったものの、売上債権の増加5億42百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、57百万円となりました。主な要因として無形固定資産の取得による支出55百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3百万円となりました。主な要因として配当金の支払3百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の経営環境、業績動向等を勘案して、第2四半期累計期間の業績予想の見直しを行い、平成20年11月4日公表「平成20年9月期 決算短信」に記載の予想を修正いたしました。詳細は、平成21年4月21日公表の「平成21年9月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績予想につきましては、「平成20年9月期 決算短信」に記載の内容から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、棚卸資産の評価基準を主として個別法による原価法から主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

③ 「リース取引に関する会計基準」等の適用

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第16号 平成19年3月30日改正）を平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

また、当該リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前のリース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更に伴う損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,472,359	3,994,457
受取手形及び売掛金	1,326,550	1,124,093
商品	920	1,061
仕掛品	213,668	249,642
繰延税金資産	254,980	186,480
その他	84,951	134,119
貸倒引当金	△19,973	△1,176
流動資産合計	5,333,457	5,688,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,212	51,212
減価償却累計額	△27,065	△24,463
建物及び構築物(純額)	24,147	26,748
工具、器具及び備品	344,903	313,565
減価償却累計額	△272,261	△254,270
工具、器具及び備品(純額)	72,641	59,295
有形固定資産合計	96,788	86,044
無形固定資産		
のれん	244,135	254,834
ソフトウェア	272,391	240,101
その他	4,645	4,645
無形固定資産合計	521,172	499,580
投資その他の資産		
投資有価証券	28,455	28,023
繰延税金資産	11,601	10,862
その他	136,199	133,099
貸倒引当金	△26,253	△24,000
投資その他の資産合計	150,003	147,985
固定資産合計	767,964	733,610
資産合計	6,101,421	6,422,286

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	301,103	314,781
未払法人税等	15,362	147,340
賞与引当金	299,254	313,359
その他	213,611	272,116
流動負債合計	829,331	1,047,598
固定負債		
退職給付引当金	—	23,579
その他	4,702	4,522
固定負債合計	4,702	28,101
負債合計	834,033	1,075,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,399,916	2,399,916
資本剰余金	1,557,958	1,557,958
利益剰余金	1,284,658	1,349,084
自己株式	△555	△458
株主資本合計	5,241,977	5,306,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	40
評価・換算差額等合計	△2	40
少数株主持分	25,412	40,045
純資産合計	5,267,387	5,346,586
負債純資産合計	6,101,421	6,422,286

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	3,595,185
売上原価	2,996,334
売上総利益	598,851
販売費及び一般管理費	582,104
営業利益	16,746
営業外収益	
受取利息	4,839
受取配当金	3
その他	1,310
営業外収益合計	6,153
営業外費用	
その他	70
営業外費用合計	70
経常利益	22,829
特別利益	
退職給付引当金戻入額	22,598
特別利益合計	22,598
特別損失	
固定資産除却損	8
アドバイザー手数料	117,000
特別損失合計	117,008
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,579
法人税、住民税及び事業税	4,675
法人税等調整額	△69,210
法人税等合計	△64,534
少数株主損失(△)	△14,632
四半期純利益	7,587

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	2,119,594
売上原価	1,737,807
売上総利益	381,786
販売費及び一般管理費	301,456
営業利益	80,330
営業外収益	
受取利息	4,430
受取配当金	3
その他	316
営業外収益合計	4,750
経常利益	85,081
特別利益	
退職給付引当金戻入額	22,598
特別利益合計	22,598
特別損失	
固定資産除却損	8
特別損失合計	8
税金等調整前四半期純利益	107,671
法人税、住民税及び事業税	2,398
法人税等調整額	△26,980
法人税等合計	△24,582
少数株主損失(△)	△5,434
四半期純利益	137,687

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,579
減価償却費	77,467
のれん償却額	10,698
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,049
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,105
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△23,579
受取利息及び受取配当金	△4,842
固定資産除却損	8
売上債権の増減額(△は増加)	△202,457
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,114
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,678
未払又は未収消費税等の増減額	5,582
未払金の増減額(△は減少)	△4,985
その他	△15,514
小計	△199,823
利息及び配当金の受取額	2,437
法人税等の支払額	△135,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	△333,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△32,624
無形固定資産の取得による支出	△88,938
投資有価証券の取得による支出	△504
敷金及び保証金の差入による支出	△1,926
敷金及び保証金の回収による収入	1,010
貸付けによる支出	△2,000,000
貸付金の回収による収入	2,002,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△97
配当金の支払額	△68,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△522,097
現金及び現金同等物の期首残高	3,894,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,372,359

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

当社グループの事業は、ソフトウェアの受託開発・販売事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		3,931,056	100.0
II 売上原価		3,224,640	82.0
売上総利益		706,416	18.0
III 販売費及び一般管理費		523,526	13.3
営業利益		182,889	4.7
IV 営業外収益			
1. 受取利息	5,306		
2. 受取配当金	2		
3. 投資有価証券償還益	1,982		
4. その他	1,078	8,369	0.2
V 営業外費用			
1. その他	86	86	0.0
経常利益		191,173	4.9
税金等調整前中間純利益		191,173	4.9
法人税、住民税及び事業税	66,699		
法人税等調整額	△53,889	12,810	0.4
中間純利益		178,362	4.5

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	191,173
のれん償却額	14,303
減価償却費	50,642
貸倒引当金の減少額	△400
賞与引当金の増加額	26,211
受取利息及び受取配当金	△5,308
売上債権の減少額	87,306
たな卸資産の減少額	86,293
仕入債務の減少額	△15,454
未収消費税等及び未払消費税等の減少額	△66,197
未払金の減少額	△90,981
その他	△29,898
小計	247,689
利息及び配当金の受取額	5,530
法人税等の支払額	△9,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,322
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	3,259
有形固定資産の取得による支出	△9,755
無形固定資産の取得による支出	△84,746
投資有価証券の持分回収による収入	2,882
その他	△1,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,875
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△111,007
自己株式取得による支出	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,050
IV 現金及び現金同等物の増加額	42,395
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,674,462
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,716,858

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)

当社グループの事業は、ソフトウェアの受託開発・販売事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前中間連結会計期間(自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 受注及び販売の状況

① 品目別の売上高

品目		当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)
製品	システム開発	2,268,048	63.1
	保守・運用	992,126	27.6
	ライセンス・パッケージ	216,190	6.0
	Webデザイン	77,495	2.2
	その他	31,165	0.9
	小計	3,585,026	99.7
商品	OA機器	10,159	0.3
合計		3,595,185	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 品目別受注高及び受注残

(単位：千円)

品目		当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	
		受注高	受注残
製品	システム開発	2,345,154	952,648
	保守・運用	725,703	394,047
	ライセンス・パッケージ	132,820	439,339
	Webデザイン	98,128	103,743
	その他	21,909	1,323
	小計	3,323,715	1,891,101
商品	OA機器	10,159	—
合計		3,333,875	1,891,101

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 数量の表示は、その性質上表示が困難であるため記載しておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係るその他の情報

(1) 受注及び販売の状況

① 品目別の売上高

品目		前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)
製品	システム開発	2,370,272	60.3
	保守・運用	1,159,318	29.5
	ライセンス・パッケージ	245,716	6.3
	Webデザイン	89,945	2.3
	その他	44,529	1.1
	小計	3,909,782	99.5
商品	OA機器	21,274	0.5
合計		3,931,056	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 品目別受注高及び受注残

(単位：千円)

品目		前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)	
		受注高	受注残
製品	システム開発	1,579,643	344,232
	保守・運用	1,108,469	834,295
	ライセンス・パッケージ	368,632	525,537
	Webデザイン	104,981	117,904
	その他	35,305	26,327
	小計	3,197,031	1,848,297
商品	OA機器	21,274	—
合計		3,218,305	1,848,297

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 数量の表示は、その性質上表示が困難であるため記載しておりません。